

# 豊明市行政評価制度 「事務事業」評価票

一般事務事業	経常事務事業	建設事務事業
--------	--------	--------

第5次行政改革大綱第1次アクションプランとの関連	
<input type="checkbox"/> 有	
<input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 1 事務事業の概要

1-1 事務事業の名称	総合的な公害対策事業								
1-2 担当	部	市民部	課 又は施設	環境課	係	環境保全係	評価票作成者	環境保全担当係長 石川 広	
1-3 総合計画における施策の体系	節	生活環境 「安全・安心で、うるおいのあるまちづくり」			基本施策	生活環境の向上		コード	1 1 2
	項	環境保全			単位施策(中)	公害対策の充実		コード	1 1 2 1
					単位施策(小)	総合的な公害対策		コード	1 1 2 1 3
1-4 事務事業の目的の精査	対象と対象の数	公害発生原因者		意図(対象を事務事業によってどのような状態にするのか)		公害を発生しないようにする。			
1-5 事務事業の内容	公害の少ない環境を今後も維持・改善するために、監視体制、啓発活動、公害発生源に対する指導などの総合的な公害対策を行います。								

## 2 事務事業実施の状況

2-1 事務事業の実施における基本認識	事務事業実施にあたって心がけた改善の取組み		社会状況等の事務事業がおかれる環境把握		市民ニーズの認識	
	平成18年度	悪臭・土壌汚染・水質汚濁などの典型公害に重点をおき、発生源の特定化を図った。	公害発生原因を除去する技術・応報が乏しく、改善対策費用の欠如	居住環境としての快適性を望むことから、事業活動とのアツレキが多くなっている。		
	平成19年度	”	公害を発生させない・被害を拡大させないための政策が求められている。	生活環境に不都合があると、すべて環境問題(公害)だと、非常に敏感である。		
	平成20年度					
	平成21年度					
	平成22年度					
	平成23年度					
	平成24年度					
	平成25年度					
	平成26年度					
平成27年度						

2-2 総合計画における単位施策成果指標	事務事業成果指標名		前期目標値(単位)	後期目標値(単位)	指標の説明
	悪臭公害苦情件数(件)		2(件)	1(件)	悪臭公害苦情に関する状況を示す指数。平成16年度実績2件。

2-3 成果指標に係る活動実績とコストの推移(アウトプット分析)	事務事業成果指標										
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	活動実績 a(件)	2	3								
	直接事業費 b(千円)	0	0								
	人件費 c(千円)	67	66								
合計コスト d(b+c)(千円)	67	66									
単位コスト d/a(千円)	1件当たり 34	1件当たり 22	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	

アウトプット実績(活動数値)の補足説明 → 活動実績...悪臭苦情に対する立ち入り指導件数。直接事業費...悪臭測定等の事業費。人件費...職員の人件費(0.01人分)

		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
2 - 4 成果指標に対応する実績と達成度の推移	指標対応実績(単位)	2(件)	3(件)								
	後期目標値に対する達成度(%)	0(%)	-100(%)								

3 事務事業の自己評価結果

3 - 1 評価結果(アウトカム自己分析)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
単年度担当課評価		A	A								

4段階評価結果  
 A : 上位目的である施策に貢献しているので継続する  
 B : 事務事業の実施手法や環境(予算的・人的)に改善が必要  
 C : 縮小等、事務事業としての見直しが必要  
 D : 事務事業の廃止が相当

判断の基準  
 必要性(必要な事務事業であるか)  
 公共性(公が実施する意味があるか)  
 妥当性(ニーズに対して投入が適正か)  
 効率性(結果に至る活動に無駄はないか)  
 有効性(活動の結果が上位の目的に貢献しているか)  
 市民満足度(事務事業が対象にしている市民を満足させているか)

3 - 2 評価の内容		今後の環境変化を踏まえた課題認識	次年度に向けて改善する取組み	事務事業の担当課としての単年度の取り組みの自己評価
平成18年度 平成19年度 平成20年度 平成21年度 平成22年度 平成23年度 平成24年度 平成25年度 平成26年度 平成27年度	平成18年度	悪臭対策を変更し、臭気指数方式に変更した。	公害発生源を早期に見出し、問題化する前に対処する。	土壌汚染に対し、田畑の土壌入れ替え地の監視活動を実施する。
	平成19年度	臭気指数方式の周知徹底を図る。	〃	フェロシルトの埋蔵地が判明し、精力的に問題解決に尽力した。
	平成20年度			
	平成21年度			
	平成22年度			
	平成23年度			
	平成24年度			
	平成25年度			
	平成26年度			
	平成27年度			

4 事務事業の総合評価結果

4 - 1 総合評価の結果		結果	審査会による改善方向の指示
平成18年度 平成19年度 平成20年度 平成21年度 平成22年度 平成23年度 平成24年度 平成25年度 平成26年度 平成27年度	平成18年度	A	継続して事業を進めること。
	平成19年度	A	継続して事業を進めること。
	平成20年度		
	平成21年度		
	平成22年度		
	平成23年度		
	平成24年度		
	平成25年度		
	平成26年度		
	平成27年度		